

特集..新春特集、機能性おせちの可能性(2~6面) 4面

## 「山参」で子孫繁栄に貢献<sup>(数の子)</sup>

野生で100年以上の高麗人参 オムニカ

数の子は、子沢山で子孫繁栄を祝うおせち料理であることから、子孫繁栄に貢献する素材として、オムニカ(東京都板橋区、〒033・5943・3144)の「百歳山参(ひゃくさいサンサム)」が昨秋から本格展開されて大きな注目を集めている。「山参」は滅多に収穫できない、特別な高級高麗人参のことで、同社の山参は培養粉末「百歳山参」。滋養強壮効果が期待される。高麗人参は通常、栽培で4~6年育てたものをいうが、山参は野生で100年以上のものを

いう。強力な精力系素材であり、高い抗酸化能を持つ。山参培養根粉末「百歳山参」は天然物と同様の効果が期待できる。一般の高麗人参は、有効成分の規格が難しいとされる。ちょうど野菜の栽培がそうであるように、産地や栽培する土地の状態などに大きく左右されるからだ。しかし山参培養根は成分の安定化が可能でその中でも「百歳山参」は抜群の有効成分含有量であるという。栽培の高麗人参と比較すると、ヒトの抗酸化機能で中心的な役割を果たすG.P.X(グルタチオンペルオキシダーゼ)の値は、高麗人参より150倍以上も活性化させることがわかった。また、性能の実験では、オスのマウスにそれぞれ50、100、200mg/kgBWを与え、6週間後の精子数をコントロールとともに比較した結果、用量依存的に効果を示した。メスのマウスにも同様に摂取させ、5日間で観察したところ50、100mg/kgBW投与群で、発情を示す排卵をしたマウスが2~3倍に増加したという。